

地域情報化アドバイザー制度活用報告書（1日目）

地域情報化アドバイザー制度の活用実績について、下記のとおり報告します。

記

1. 申請団体情報

1-1. 申請団体

団体名	普代村	代表者名	榎屋伸夫
担当者部署	普代村 岩手県駐在（政策推進室内）	連絡先電話番号	09040431904
担当者役職	特命課長	担当者氏名	土澤智
住所	028-8392 岩手県普代村第9地割字銅屋13番地2		

2. 派遣アドバイザーに対する評価と要望

支援を受けたアドバイザーに対する評価をお願いします。

アドバイザー	細川 哲星
評価	大変よい
上記評価の理由（どのよう なところがよ かったか等詳 細に）	村の取り組みに深い理解を示し、共感いただいたうえで、親身に相談に乗っていただいた。また、助言内容が実例に基づくわかりやすいもので、かつ条件不利地域でも十分に実施可能性のあるものであった。
アドバイザーへの要望事項	特になし

3. 地域情報化アドバイザー派遣実績

	派遣日	開始時刻	終了時刻	内休憩時間（分）	活動時間（分）
3-1. 活動	2022年1月17日	15時00分	16時00分		60
3-2. 派遣場所	会場名	国民宿舎くろさき荘		最寄駅	三陸鉄道普代駅
	所在地	岩手県下閉伊郡普代村第2地割下村84-4		最寄駅からの交通手段	宿の送迎あり
	派遣形態	支援・助言（実地）			

4. 報告書に関してのAPPLICホームページへの掲載許可

掲載許可	<input checked="" type="radio"/> 掲載可
------	--------------------------------------

オミクロン株の拡大を受け、派遣を取りやめ、オンラインで助言をいただいた。

5. 依頼内容及び支援を受けたことによる成果・効果

5-1. 支援を受けた対象者	属性（職員、一般、企業等）について	職員	1 人
----------------	-------------------	----	-----

5-2. 支援を受けるにあたって目指した成果と実勢に支援を受けたことで改善又は解決した成果・効果

事業の課題・問題点 （具体的にご記入下さい）	村で整備したワーケーション施設は、整備して間もなく、利活用促進のためにはまずは認知を上げていく取り組みが必要。また、都市部から遠い沿岸に立地しているため、集客のためには継続的に魅力ある企画づくりと実行が特に求められている。
支援により目指す成果 （具体的にご記入下さい）	ワーケーターを招くワーケーションツアーを企画・運営することで、参加者のフィードバックによる施設の魅力化や、参加者のSNSによる情報発信により、施設の魅力と認知を上げる。
アドバイザーに支援を受けた内容 （具体的にご記入下さい）	ツアーといっても、日程を理めておもてなしをすることを考えるのではなく、余白を設けるのがよいこと／余白を利用して地域の方々との交流を重視するべきこと／村の越境学習プログラムは魅力だが、よりライトで面白さを求める層に訴求することも大事であること／「村」というのは参加者にとって新鮮で、訴求できること
支援を受け改善又は解決された内容 （具体的にご記入下さい）	ワーケーションやワーケーションツアーにおける「余白」の重要性、定額コリピングサービス”Hafu”のネットワークやFacebookやツイッターを利用した集客の可能性が理解でき、今後の企画の参考となった。
具体的な成果物	最も当てはまるものをリストより選択下さい。 ⑥途中段階であり、具体的な成果物はできていない
改善又は解決されなかった内容 持ち越しとなった内容 （具体的にご記入ください）	具体的なワーケーション企画を固め、実施するには至らなかった。

アンケートの内容と分析結果	<p>講演・セミナー又は個別の事業支援の実施にあたりアンケートを行った場合は、その内容と分析結果についてご記入下さい。（EXCELやPDFでの分析結果を添付されても結構です。）アンケートを行わなかった場合はその理由をご記入下さい。</p> <p>ワーケーション企画の実施に至らなかったため</p>	
5-3. 今後の計画	最も当てはまるものリストより選択下さい	③现阶段では課題・問題が残っているため未定
事業の最終的な目指す姿	<p>コロナウィルス感染症の拡大の状況を注視しながらワーケーション施設の魅力化と認知の向上を図る取り組みを継続する。</p>	
<p>6. 地域情報化アドバイザー支援の様子</p>		